

# ポットホール補修工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	①作業打合せ(KY活動) ※現場責任者は、簡易風速計を携帯する。 作業内容及び規制内容の確認 作業人員及び車両配置の確認 保護員の点検 使用機械、資材、工具の点検	・資機材等落下災害及び飛散防止ネット転倒に関するKY活動を必ずいれて実施する。 安全打合せ書による指示書の内容確認 業務マニュアルの活用。 KY活動 その日使用する手持ち式振動工具に関するKY活動の実施及び手持ち式振動工具取扱説明書を用いて工具取扱確認を実施。 安全データシートの確認
はつり工	・荷台から飛散防止ネット(軽量タイプ)を車線反対側に吊り下ろす。 ・飛散防止ネット(軽量タイプ)の組立  ・施工箇所へ移動 ・ロープ及び土巻による転倒防止対策実施  ・現場での確実な安全確認の実施体制(実施方法) ■点検項目 ①ロープ固定 : 控えの位置は適切か、たるみが無いか、注意喚起がされているか ②土巻固定 : 設置位置は適切か、設置数量は適切か、土巻質量(10kg)は適切か ③飛散防止ネット : 隙間が無いか、破損して無いか、設置位置は適切か ■現場での悪天候等による実施判断 ①前日 : 天気予報により工事担当者が判断 ②当日 : 天気予報により現場責任者と工事担当者が判断 ③現場での悪天候等 : 作業中断する場合は、両柱に土巻を1袋追加する。また中止にあつては、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHCSと調整の上、現場責任者へ中止指示を行う。  ・ハンマードリル等で取壊しを行う。 ・般はトラックに積込む。 ・はつり終了後は綺麗に清掃する。	・現地打合せを行い、作業方針を関係者へ周知する。  ・車線反対側の安全な場所で行い、部材の連結を確実に行う。 ・両端に2人配置し、監視員の合図で移動を行う。(一般車に注意) ・車線反対側上部梁部にあるアイボルトをロープにより車両または防護柵等へ固定する。且つ、車線反対側両柱のネット高1/3の位置にあるアイボルトにカラビナ付き土巻(10kg)を1袋吊し、同柱、最下段平鋼部へ土巻(10kg)を1袋吊し、同柱、最下段平鋼部へ土巻(10kg)を1袋吊す。 ※現場巡回、安全パトロールにおいても、必ず安全確認を実施する。  ・悪天候とは、強風:10分間の平均風速が毎秒10m以上の風、大雨:降雨量が50mm以上の降雨、大雪:1回の降雪量が25cm以上の積雪をいう。  ・手持ち式振動工具の取扱いに注意する。 ・はつり作業では保護メガネを使用する。
常温合材転圧	・はつり終了後、常温合材を投入し、レーキ・スコップ等で均一に敷均す。  ・常温合材投入後、(晴天時は水を散布する)振動コンパクター等で	・晴天時は、水を散布する。
片付け	・使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。	・使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 ・はつりかす、合材かすが無い様に、綺麗に清掃する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
現場責任者	1名	発電機	角スコップ	水		ヘルメット	消火器
作業員	2名	飛散防止ネット	竹ぼうき	常温合材		反射(自発光)チョッキ	
現場監視員	1名	振動コンパクター	レーキ			警笛	
先端監視員	2名	ハンマードリル				粉塵マスク	
後尾警戒車	2名					保護メガネ	
						耳栓	

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に適した保護具を着装する。
- 2.センターライン付近の作業は十分注意する。
- 3.各作業は、有資格者による作業を行うこと。
- 4.はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 5.火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
- 6.保管等は、平積で保管する。
- 7.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 8.作業で使用しない工具は、発電機を切るかコンセントを抜き、誤作動がおこらないようにする。
- 9.手持ち式振動切創工具は切創手袋・切創防護衣を着装する。
- 10.一人作業の禁止
- 11.現場で作業手順を変更する場合は作業を中止して、現場責任者から工事担当者へ報告を行い、工事担当者はHSCと調整の上、現場責任者へ指示をだすものとする。

